

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 おむすびやま		
○保護者評価実施期間	R6 年 12 月 1 日		～ R7 年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	R6 年 12 月 1 日		～ R7 年 1 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 2 月 19 日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々のアセスメントや職員間の情報共有を通じて、こどもの変化を捉えながら支援内容の見直しを行っている。 また、保護者との連携を大切にし、安心して利用できる環境づくりを心がけている。	日々のアセスメントや職員間の情報共有を通じて、こどもの変化を捉えながら支援内容の見直しを行っている。 また、保護者との連携を大切にし、安心して利用できる環境づくりを心がけている。	職員研修の充実や外部との連携強化を図り、より専門性の高い支援の提供につなげていく。
2	多様な活動(体験・創作・地域交流など)を通じて、こども達の「できた!」を引き出し、自己肯定感を育む支援ができていく点。	活動プログラムが固定化しないよう、季節行事や地域との関わりを取り入れながら、日々工夫を重ねている。 また、職員間での振り返りを大切にし、チームで支援の質向上に取り組んでいる。	地域資源の活用や他機関との連携をさらに深め、こども達の経験の幅を広げる支援を充実させていく。
3	職員間の連携が図られており、日々の支援について振り返りと改善を行いながら継続的に質の向上に取り組んでいる点。	支援前後の打ち合わせや記録の徹底により、こどもの状況を共有し、一貫した支援を行っている。 また、保護者からの意見を積極的に取り入れ、運営改善につなげている。	PDCAサイクルをより明確に運用し、データや記録を活用した客観的な評価・改善の仕組みを強化していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や取組について、職員間での共有にばらつきが見られることがある。	日々の業務が多忙であることや、記録・伝達の方法が統一されていないことにより、必要な情報が十分に共有されにくい状況があるため。	支援前後の打ち合わせの充実や記録様式の見直しを行い、誰が見ても分かる情報共有の仕組みを整備する。あわせて、定期的な振り返りの機会を確保し、チーム全体での共通理解を深めていく。
2	活動プログラムや支援内容について、さらなる多様化や発展の余地がある。	日々の支援において安全面や安定した運営を優先する中で、新しい取り組みの導入や外部との連携が十分に広げられていないことが要因と考えられる。	地域資源の活用や外部機関との連携を積極的に取り入れ、体験活動や社会参加の機会を増やしていく。また、職員間でアイデアを出し合う場を設け、活動内容の充実につなげていく。
3	支援の質の評価や改善に関する取組について、より体系的かつ客観的な仕組みの構築が必要である。	日々の支援記録や振り返りは実施しているものの、それらをデータとして分析・活用し、計画的な改善につなげる仕組みが十分に整っていないため。	PDCAサイクルを明確にし、定期的なモニタリングや評価の場を設定することで、支援の質を継続的に見直す体制を強化する。あわせて、職員研修を通じて評価・改善の視点を共有し、組織全体の質の向上を図っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
児童発達支援 おむすびやま		R7年 3月 31日				1人	1
	チェック項目	利用児童数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0	活動スペースについては概ね確保できておりますが、今後も利用人数や活動内容に応じて配置の見直しを行い、より安全で過ごしやすい環境づくりに努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0	職員配置については基準を満たしておりますが、こどもの特性や状況に応じた柔軟な配置を行い、より安心して過ごせる体制づくりを継続してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0	生活空間の構造化や環境配慮については引き続き工夫し、障害特性に応じた分かりやすく安心できる環境整備に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	0	0	0	清潔で心地よい空間を維持するとともに、活動に応じた環境設定を見直し、こども達が快適に過ごせるよう改善を続けてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0	こども一人ひとりの特性理解をさらに深め、職員の専門性向上に努めることで、より質の高い支援の提供を目指してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0	支援プログラムについては、実際の支援内容との整合性を継続的に見直し、分かりやすい形での公表・説明に努めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0	アセスメントの充実を図り、こどもと保護者のニーズをより的確に反映した個別支援計画の作成に努めてまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0	ガイドラインに基づいた支援内容の設定を引き続き行い、より具体的に実践的な計画作成に取り組んでまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0	個別支援計画に基づいた支援がより確実に実施されるよう、職員間での共有と確認を徹底してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	0	1	0	0	活動プログラムが固定化しないよう、季節行事や新しい取り組みを取り入れ、こども達が楽しめる活動の充実を図ってまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	1	0	地域との交流機会については状況に応じて検討し、無理のない範囲で社会とのつながりを持つ機会づくりに努めてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0	運営規程や利用内容について、より分かりやすく丁寧な説明を行い、安心して利用いただけるよう努めてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0	個別支援計画の説明については、保護者の方に理解しやすい形で丁寧にお伝えできるよう工夫してまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	1	0	0	家族支援については、情報提供や相談機会の充実を図り、保護者の方が安心して子育てできるような支援を強化してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	1	0	0	0	日頃からの情報共有を大切にし、こどもの状況について保護者と共通理解を深められるよう努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0	定期的な面談や助言の機会を確保し、保護者のニーズに応じた支援を行ってまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0	こどもや保護者の気持ちに寄り添い、共感的な支援が継続できるよう職員一同で意識向上に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	0	0	保護者同士やきょうだいの交流機会については、実施方法を工夫しながら充実に向けて検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0	相談体制の周知を徹底し、相談しやすい環境づくりと迅速丁寧な対応に努めてまいります。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0	意思疎通や情報伝達について、子どもや保護者に応じた方法を工夫し、より分かりやすい伝達を心がけてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0	通信やSNS等を活用し、活動内容や情報をより分かりやすく発信できるよう改善してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0	個人情報の取り扱いについては、引き続き適切な管理を徹底し、安心して利用いただける体制を維持してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	0	各種マニュアルの周知と訓練について、実践的な内容となるよう見直しを行い、職員の対応力向上に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	0	災害時に備えた訓練を継続的に実施し、子ども達の安全確保に努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0	安全計画に基づき、子どもが安心して過ごせる環境づくりと安全対策の強化を継続してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0	事故発生時には迅速な連絡と丁寧な説明を徹底し、再発防止に向けた取組を強化してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0	子どもが安心して通所できる環境づくりを継続し、一人ひとりに寄り添った支援を行ってまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0	子どもが「また来たい」と思えるような楽しい活動や関わりを大切に、通所意欲の向上につなげてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0	支援全体の質の向上に努め、子どもや保護者に満足していただける事業所運営を目指してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援 おむすびやま		公表日		R7年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2		利用定員に対するスペースについては概ね確保できているが、利用人数や活動内容によっては十分とは言えない場面もあるため、今後も環境設定の見直しを継続していく必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	3		職員配置は基準を満たしているが、こどもの特性や支援内容に応じた柔軟な配置について、さらなる工夫が必要である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2		構造化や環境配慮は行っているものの、より分かりやすく安心できる環境づくりに向けて継続的な見直しが必要である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0		清潔な環境は維持できているが、活動内容に応じた空間設定について、さらなる工夫が求められる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	活動する部屋とは別に勉強部屋があります。	個別対応のための空間確保について、状況に応じて柔軟に対応できる環境づくりをさらに進める必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	5	30分～1時間前に日々ミーティングをし、振り返りや確認をしています。	PDCAサイクルは実施しているが、全職員が主体的に参画できる仕組みの強化が必要である。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		保護者の意見は把握しているが、業務改善への反映をより明確に行う仕組みづくりが必要である。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		職員の意見収集は行っているが、改善につながる活用の強化が課題である。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2	他事業所の意見を聞き、改善に繋げていきます。	第三者評価の実施や活用について、今後検討を進める必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0		研修機会は確保しているが、学びを現場に還元する仕組みの充実が必要である。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2		支援プログラムは作成しているが、より分かりやすい公表や内容の見直し求められる。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0		アセスメントの質をさらに高め、より客観的な計画作成につなげる必要がある。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1		職員間の意見共有をより充実させ、チームとしての検討体制を強化する必要がある。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	その都度共有し、職員間で支援が出来ているか確認しています。	支援計画の共有について、全職員が確実に理解できる仕組みづくりが必要である
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0		フォーマルなアセスメントの活用について、必要に応じて導入や活用の検討が必要である。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2		ガイドラインに基づいた支援内容の設定について、より具体性を持たせる必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1		活動プログラムの立案について、より多職種での検討機会を増やす必要がある
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		活動の固定化を防ぐため、新しい取り組みの導入を継続していく必要がある。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	子供の障害特性を考えて支援しています。	個別と集団活動のバランスについて、こどもの状況に応じた調整をさらに工夫する必要がある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0		支援前の打ち合わせ内容をより具体化し、役割分担の明確化が必要である。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0		振り返りの質を高め、支援改善につながる共有方法の強化が必要である。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		記録の内容をより充実させ、検証・改善に活用できる体制づくりが必要である。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		モニタリングの精度を高め、計画見直しの判断をより適切に行う必要がある。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1		会議への参加について、より適切な人員配置と情報共有の強化が必要である。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1		関係機関との連携について、さらなる強化と継続的な関係構築が必要である。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1		インクルージョンの観点から、他機関との連携や情報共有の充実が必要である。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	小学校及び利用児の保護者、相談支援員と情報共有・相互理解を図っています。	就学時の引継ぎについて、より丁寧な情報共有体制の構築が求められる。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	3			児童発達支援センターとの連携をさらに強化する必要がある。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	2			地域交流の機会について、無理のない範囲で充実を図る必要がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0			保護者との情報共有をより丁寧に行い、共通理解を深める必要がある。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3			家族支援の機会について、さらなる充実が求められる。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	契約時にお伝えしています。		説明の分かりやすさについて、継続的な見直しが必要である。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1	LINEや送迎時に家族様の意向を確認しています。		こども・保護者の意向確認について、より丁寧な対応が必要である。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0			支援内容の説明と同意取得について、分かりやすさの工夫が必要である。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1			相談対応について、より相談しやすい環境づくりが必要である。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	3		保護者同士の交流機会について、充実に向けた検討が必要である。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		相談体制の周知と迅速な対応について、さらなる強化が必要である。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0		情報発信の方法について、分かりやすさとタイムリーな発信の工夫が必要である。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		個人情報管理について、継続的な意識向上が必要である。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1		意思疎通支援について、個々に応じた対応の強化が必要である。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	2		地域に開かれた運営について、取り組みの拡充が求められる。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	年2回訓練を実施しています。	マニュアルの周知と訓練について、実践的な内容への見直しが必要である。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	年2回訓練を実施しています。	BCPの実効性を高めるため、継続的な訓練が必要である。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0		健康状態の把握について、より丁寧な確認体制の維持が必要である。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		アレルギー対応について、確認体制の徹底が必要である。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		安全管理について、研修や訓練の継続が必要である。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		安全計画の周知について、保護者との連携強化が必要である。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	2		ヒヤリハットの活用について、共有と改善の仕組みの強化が必要である。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		虐待防止について、継続的な研修と意識向上が必要である。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	身体拘束はしません。	身体拘束について、適切な手順と説明体制の徹底が必要である。	